

令和5年度 「ともの家」 事業報告

—はじめに—

R5年2月コロナ感染症が5類に移行しました。衛生面には十分注意しながらも、素早く通常の生活を取り戻しました。しかし、8月初旬と1月半ばに10人程が罹患し、ひやひやする場面もあり、気持ちを緩めることなく生活する窮屈さを感じずにはられません。同時に、今後も起こりうる感染症の脅威は記憶に留めておかななくてはと思っています。

年度途中で3名の職員の退職（パート1名、正規職員2名）があり、当然、仲間の日々の活動や作業への影響や職員への負担増、また計画していた事業が予定通り実行できない事態が起きました。結果として、仲間、職員のチームワークで乗り切ったと言うことにはなりますが、なかなかきつい1年であり宿題が沢山残ってしまいました。

—具体的計画に沿って—

1. グループホームの安定的な運営

人材不足のままのスタートでしたが、8月に週2回の夜勤勤務職員が退職し、人手不足に拍車がかかり、通常運営がままならない状況に陥りました。週2回の夜勤職員の泊りを週3回に増やしたり、日勤の職員が夜勤に入るなどして乗り切りました。またどうしても体制が取れない時、コロナ感染が広がりそうな時は、週末に限らず、自宅に戻ることに協力してもらい、何とか1年無事に過ごすことが出来ました。まさしく、その日暮らしであり、先の見通しなど持てませんでした。

2. 個別・集団 / 仕事・活動のバランス

各部署の年間計画に則り、事業を遂行してきました。人手不足が否めない中、十分バランスが取れていたとは言えません。

そんな状況下でも、就労Bでは集団の中の個別対応や作業中心の合間の余暇の位置づけについて、職員間で話し合いを持ち、仲間たちの有意義な時間を設けることが出来ました。

生活介護では、1対1対応が必要な仲間と集団の関係、作業の2本柱でもある興津螺旋のネジ作業がない期間の作業の確保など、知恵を絞りました。仲間たちが選択する場面を数多く設定したことで、意思をくみ取ることが出来た場面が多くみられましたが、活動内容のマンネリには注意が必要だと感じています。

3. 世代交代の準備

ともの家の良さを失わずに、世代交代する準備を進めたいと考えていましたが、年度途中で3名が退職し、日々を過ごすことに精一杯でした。それでも、映画会や研修参加、年末の研修報告会での発表の機会を通して、各々の知識が深く広がっていることに、頼もしさを感じています。実践が常に仲間主体であることを心に留めて、理念と共に次世代に伝えていきたいと思っています。

4. 自然災害から命を守る 防災意識の向上と実践の強化

各部署の初動訓練は滞りなく行いましたので、仲間たちを交えての実践は強化出来ました。継続は力なりです。

しかし、災害対策本部の立ち上げ、安否コール送信後の保護者のお迎えなど、もう一步踏み込んだ訓練は出来ませんでした。

災害時に避難場所として活用予定の「活動室」については、R5年度6月には完成します。有効利用できるよう来年度は仕切り直すつもりで強化していきます。

5. 地域発信

6月に清水中央ロータリークラブさんにご協力頂き、映画会を開催
その他、地域のおまつりやイベント、お店でのミニマルシェの開催
i n s t a g r a mやHPの活用

6. 虐待、ハラスメントの防止

GH世話人による、他の職員へのモラルハラスメント（8月退職）は随分悩み苦しむ出来事でした。
当事者はもちろんですが、他の職員や理事にも面談の機会を作り、理事長にも相談に乗って頂いた
ことで、早期解決を図ることが出来ました。

7. ヒヤリハット、事故

仲間の怪我 5件 2名の仲間で5件

1名は立位での転倒が多かったため、車椅子に乗車するという対策を取る

仲間の事故 2件

外出中エレベーターの中で、仲間がいないことに気づく→職員の打ち合わせ不足
GHにて、職員が入浴介助をしている間に、外に出て行き、気づいて探すと隣家の
駐車場にいた。怪我はなし

施設のヒヤリハット 2件

自動火災報知機が作動により、火災報知器が鳴りやまず、消防車が出動した
屋根裏の感知器が劣化して起こった誤作動感知器 10台交換する

GHで夕食の食事作り時に、電子レンジから煙が出た（時間設定の間違い？）

自動火災報知機が作動し、消防より連絡が入る → 原因がわかったため消防車は
出動せず

8. その他

リフト付き軽自動車を計画通り購入、大活躍しています

GH「とも」移転については、R6年度事業として準備をすすめます。

お店の横の土地の活用 活動室として建築中

■防災事業報告■

瀧戸恵美

この1年は防災に対する取り組みが弱まったと反省します。
個人的には、きょうされん全国事務局より依頼され、9月、京都市伏見区醍醐の醍醐生活支援センター主催の防災研修会に招かれ、R4年の静岡市の台風被害の状況、事業所としての動きと反省点などの報告をさせて頂きました。事前の資料作りや当日の質疑を通して、ともの家の防災対策の弱点を掘り起こすことが出来ました。また、対面とリモートによるハイブリット研修だったため、清水で研修を受講していた方から連絡があり、繋がることができました。

1. 各部署の防災訓練の内容に踏み込んで把握することは出来ませんでした。
各部署の防災報告は別紙参照
2. 安否コールのテスト配信も定期的には行っておらず、反省です。
携帯の買い替え等で送信できない状態を防ぐことをねらっていますので、次年度は年4回のテストコールを行いたいと思います。
3. BCPの見直しは全くできませんでした。
4. 新たな避難所場所の設置は計画通り進んでいます。
R6年6月に完成予定なので、どう使用するのか、何をどれだけ備蓄するのかなど、具体的に進めていきます。

■ともの家通信報告■

瀧戸・進藤

- ・年4回、ささえる会の会員さん、理事や評議員、法人内他事業所の職員に、ともの家の様子。お知らせする目的は達成できました。
- ・新たな試みとして、ピースの脳トレメンバーが作成した「クロスワードクイズ」の掲載を開始。クイズの回答者の中から抽選でお店の商品券が当たるという特典付き。抽選会から当選ハガキの発送まで、脳トレメンバーが担ったことにも意味があったと思う。

「次年度に向けて」

- ・紙媒体での情報も、HPやInstagram同様に、見て頂ける方の顔を浮かべながら、引き続き年4回情報をお届けできたらと考えます。
- ・クロスワードクイズの応募数が第1回より右肩下がりの為、応募しやすい方法を工夫したいと思っています。(QRコードを添付するなど)

■職員研修報告■

三橋・瀧戸

1. 目的について

今年度の研修計画では、4つの目的を掲げた。一つ目の「専門的知識を学ぶ」については、外部の研修に参加することで、発達、障害についての知識を身に付ける機会を提供することができた。一方で、「自分自身の内面を磨く」「創意工夫と広い視野を持つ」「社会全体に目を向ける」という3点の目的については、それらの目的を果たすために研修の機会の設定をすることができなかった。自身の内面を磨くことや視野を広げることについては、自分自身の生活の中で工夫が必要なこともあるが、きょうされんや全障研での分科会などでそれらの目的につながるテーマのものに参加するなどして何かのきっかけとなるような機会の設定をしていきたい。

また、目的を達成するために、年間計画として研修内容、方法等についてもっと具体的に考えて実行していく必要があった。

2. 内容について

外部研修への参加は、職員不足の影響もあり、昨年よりも少ない回数となったが、正規職員については全国大会規模の研修に一度は参加することができた。また、職員全体研修は、例年と同じ内容で各自が参加した研修の報告を行なった。報告内容の充実度が上がっているとの講評を受けたように研修内容を深く理解してアウトプットすることができている。

課題点としては、どのような研修を誰が受けたほうが良いのか曖昧だったため、一人一人の職員にとって、年間を通して一貫性のない研修内容となってしまった部分がある。目的のところでも挙げたが、各職員が必要としている研修内容に応じて研修を提供していくことができるように年間計画の中で具体的に考えていきたい。

また、仲間を見る視点や仲間一人一人の特性理解について、職員間でさらに話を深めて共有していきたい。そのために、職員会議の時間で「みんなのねがい」や「きょうされん tomo」の読み合わせをする時間を設けるなどしていきたい。

3. 来年度に向けて

まずは、研修の目的を達成するために、内容や方法等について年間計画を立てたい。あらかじめ予定されている全国規模の研修（全障研、きょうされん）などについては、年間計画の中で参加者を決めておく。職員の希望や意見等も踏まえながら興味や関心を持って研修に参加できるように内容等について工夫していきたい。

令和5年度研修参加一覧

| 月日 | 研修名 | 参加者 |
|-------------------|--------------------------|-----|
| 8月6日(土)～ 7日(日) | 全障研全国大会「学習講座」 | 滝戸 |
| | | 長島 |
| | | 佐野 |
| | | 犬塚 |
| | | 漆畑 |
| | | 松本 |
| | | 米山 |
| | | 渡辺 |
| | | 深沢 |
| | | 三橋 |
| 8月 | ダウン症支援セミナー | 深沢 |
| | | 千花 |
| 8月22日(火) | 「コロナ禍を経験した今、ハンセン病問題を考える」 | 漆畑 |
| 3月6日(水) | 静岡市障がい者虐待防止講演会 | 犬塚 |